

リリースノート - Ki Pro Rack v5.0

Firmware update for Ki Pro Rack

全般

このファームウェアアップデートは、Ki Pro Rackの改善といくつかの新機能が含まれています。機能と設定、および更新についてはクイックスタートガイドとインストレーション&オペレーションユーザーガイドを参照してください。(これらのドキュメントは、www.aja.comで入手することができます)

新機能

- ・ ロールオーバーレコーディング機能を追加しました。Ki Pro Rackは収録時に最初に選択したKiStorメディアの容量が限界に達した時に次のKiStorメディアに途切れなく収録が引き継がれるように機能します。なおロールオーバー先のKiStorメディアはフォーマットされた状態のままにしておく必要があります。
- ・ QuickTime DNxHDファイルのステレオオーディオをサポート。以前はディスクリットオーディオチャンネルファイルのみのサポートでした。

修正点

- ・ Avid Media ComposerがエクスポートしたQuickTimeファイルをサポート
- ・ LANを使用したネットワークでのファイル転送が停止した場合に後から再開できるように修正
- ・ 多数のファイルがKiStorメディアに保存された状態でのパフォーマンスを向上
- ・ エンベデッドオーディオのステータスを適切に”sync”ステータスに表示するように修正
- ・ 収録されたファイルを消去した際にKiStorメディアに空きスペースが生成されない問題を修正
- ・ オーディオのプレイバックを早送りや巻き戻しの操作を行なった後に停止できない問題を修正
- ・ ダウンコンバートにおけるアスペクトレシオの選択が再起動や電源を入れ直した後に引き継がれない問題を修正

- ・ オーディオのline/mic選択が再起動や電源を入れ直した後に引き継がれない問題を修正
- ・ スーパーアウトのタイムコード値をSDIエンベデッドタイムコードが存在しない場合にも増加するように修正。以前のタイムコード値はSDIエンベデッドタイムコードが存在しないような特定の収録状況においては00:00:00:00に固定されたままでした。

使用上の注意点

- ・ ファームウェアのアップデートを行う前に、CONFIGメニューで工場出荷状態にリセットすることをお勧めします。
- ・ ファームウェアのアップデートを行った場合、WebブラウザとKi Pro Rackとの接続は解除されます。再接続を行うには、ウェブブラウザのページをリロードしてください。
- ・ Ki Pro Rackで収録したクリップをFinal Cut Pro 7に読み込んだ場合、「最適化されていない」旨のダイアログが表示される場合がありますが、これらのクリップは問題なくFinal Cut Pro 7で使用できます。
- ・ Ki Pro Rackで収録中にファームウェアのアップデートを行わないでください。アップデートを実行する前にはKi Pro Rackが停止状態にあることを確認してください。